

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】	小児ボタン形・コイン形電池誤飲事故アンケート調査		
1. 研究の目的と方法	【研究の背景と目的】 小児における誤飲事故は後を絶たず、中でもボタン(コイン)形電池の誤飲は時に死に至る重大事故です。我々は2017年に電池誤飲に関する全国アンケート調査を施行し、5年間で939件もの誤飲事故が起こっていることが分かりました。その事実を受け、日本電池工業会を中心にコイン形電池のパッケージを小児が容易に開けられないようにしたり、電池の表面に誤飲防止のピクトグラムを刻印するなどの工夫を行ってきました。 今回我々は、それら工夫の効果を確認するために、第2回目の全国アンケート調査を行うこととしました。 【方法】 日本小児外科学会認定施設、日本小児救急学会代議員施設および日本小児内視鏡研究会会員施設にアンケート用紙を送付し、2019年1月1日から2023年12月31日に各施設を受診した、電池誤飲の症例数を回答頂きます。また、ボタン形電池かコイン形電池か、その症例の合併症の有無などを回答してもらいます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	ボタン形またはコイン形電池を誤飲した患者さんで、2019年1月1日～2023年12月31日の間にて日本小児外科学会認定施設、日本小児救急学会代議員施設および日本小児内視鏡研究会会員施設治療(検査)を受けた患者さんです。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	誤飲した電池の種類、受診時の電池の位置(食道内、胃内、十二指腸以降)、摘出方法、合併症の有無 症例数のみの集計のため、名前、性別、年齢など個人が特定される情報は含みません。	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座小児外科
		氏名	大橋伸介
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の	(1)の研究責任者と同じ		

	管理責任者	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を含みません。情報提供元の施設に新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：追跡可能な方法で郵送</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2025年1月頃～</p>	
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座小児外科</p> <p>研究責任者：助教 大橋 伸介（おおはし しんすけ）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 3401）</p> <p>対応時間：平日 9:00 ～ 16:00</p>	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。